

# 市政を問う

12人の議員が  
一般質問



12月定例会議では、12人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。

内容は要約して10～22ページに掲載しています。なお、議事録は香美市ホームページ上にアップします。<https://www.city.kami.lg.jp/site/gikai/>

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
濱田百合子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域医療構想</li> <li>2. 福祉タクシー料金助成制度</li> <li>3. 不登校について</li> <li>4. 香北町のまちづくり</li> <li>5. 不法投棄等の対策を</li> </ol>	山崎 晃子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中山間地域の現状とまちづくり</li> <li>2. 山村留学</li> <li>3. 子育て支援</li> <li>4. 市有地の管理</li> </ol>
舟谷 千幸	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワクチン手帳の作成を</li> <li>2. 空き家改修費等補助金の拡充を</li> <li>3. 子宮頸がん予防接種勧奨再開</li> </ol>	大岸 眞弓	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持続可能な地球に</li> <li>2. 投票率を上げるために</li> <li>3. 地元の高校への支援を</li> <li>4. プラザ八王子に関して</li> <li>5. 市中央公民館の空調</li> </ol>
山崎龍太郎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業者支援金、給付金等</li> <li>2. 生活保護行政</li> <li>3. 所有者不明地等の環境問題</li> </ol>	笹岡 優	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 選挙制度が民主的か問われている</li> <li>2. 主権者教育の推進を</li> <li>3. 憲法遵守義務を履行する時</li> <li>4. 林業・農業の再生でこそ持続可能に</li> <li>5. 外国人労働者を大切に</li> <li>6. 物部川の治水対策</li> </ol>
村田 珠美	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市役所庁舎等について</li> <li>2. さまざまな大使・観光大使</li> </ol>	久保 和昭	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不法投棄の対応</li> <li>2. 地区公民館事業の今後</li> </ol>
森田 雄介	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ住宅の研究や啓発</li> <li>2. 消防の人員定数</li> <li>3. 処遇改善加算金</li> <li>4. オンライン相談機能を</li> </ol>	萩野 義和	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中山間部を守るために</li> <li>2. 医療に関して</li> </ol>
比与森光俊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童虐待対策</li> <li>2. いじめ対策</li> </ol>	山口 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カミカの普及活動</li> </ol>



高知県の調査で不登校児童生徒数は、令和2年度が小学校で377人、中学校で861人、前年度より121人増加。千人当たり、25・2人で全国平均20・5人より多く、全国ワースト1位となっている。

**問** 本市小中学校の令和元年度、2年度、3年度現在の状況は。



濱田百合子  
(日本共産党)

**Q** 不登校への対応は  
**A** 魅力ある学校づくりに

教育次長 表のとおり。

香美市の不登校状況

	小学校	中学校	計	千人あたりの人数
令和元年度 (30日以上欠席)	14	37	51	32.1
令和2年度 (30日以上欠席)	17	38	55	35.3
令和3年度 (10日以上欠席)	10	27	37	23.5

令和3年度は、7月末調査

**問** 深刻な状況とと思うが、どの学年に多いのか、傾向は。

**教育次長** 本年度は、小学6年生と中学3年生が多い。不登校になるとすぐに改善せず、前年度多かった学年が継続して多い状況である。

**問** 不登校の多い原因をどのように考えるか。

**教育長** 全国的にみても新規の不登校児童生徒数は増えている。本市では、前年度から減少した。

**原因** は多様。コロナ禍の影響も否定できない。臨時休校となり、経験したことのない状況におかれ集団活動もままならなかったり、家庭の経済的基盤も不安定な状況が続いたりしたことなどによる影響が考えられる。

**問** どんな対策を講じているか。

**教育長** すべての児童生徒を対象に未然防止の集団指導を行う「魅力ある学校づくり」に取り組んでいる。

不登校の兆しが見えた児童生徒には、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、教育支援センター「ふれんどるーむ」と連携して自立支援など初期対応

に組み組んでいる。不登校児童生徒については、医療や福祉との連携を図りながら個別の支援を継続している。

**問** 7月に実施した日本大学文理学部教育学科の高橋智教授らの調査研究によれば、子どもがコロナ禍で求める支援では「子どもも毎日頑張っていることをわかってほしい」等が多い。本市でもこのような調査をしてみているか。

**教育次長** 現在、「楽しい学校生活をおくるためのアンケート」と「学校生活アンケート」を年2回ずつ実施している。

**Q** 不法投棄多発!!  
**A** 監視パトロール強化

**問** 日ノ御子、林道から川ノ内川への不法投

棄が続いている。対策を急ぐべきでは。これまでの経過を聞く。

**環境上下水道課参事** 香北支所と共に不法投棄防止の看板を設置し、中央東福祉保健所、警察署と情報を共有、土地の所有者に「所有地の適正管理に関する文書」を送付している。

**香北支所長** 現場の写真撮影、不法投棄禁止の看板を設置し、環境係、駐在所へ連絡している。また、防災行政無線での啓発も考えている。

**建設課長** 林道等の通行および河川通水に支障がある場合は、関係機関に報告、協議後速やかに通行および通水の支障のない状況とする。

**問** 地権者が投棄物の除去等に対処できない場合や、地権者に連絡できない場合、そのまま放置せず、対処することが必要では。

**環境上下水道課参事** 悪質な不法投棄に対し、土地の所有者からも警察に通報していただくことが必要。市としては、中央東福祉保健所と市による巡回パトロールの強化を図る。

**問** 今後増える可能性がある不法投棄。住民生活を守る観点からプロジェクトチームを。

**環境上下水道課参事** 通報があった場合は関係機関と連携を密にし、対応している。

**問** 「監視カメラ」設置を。

**環境上下水道課参事** 現在、警察署、中央東福祉保健所、市による監視パトロールを強化している。設置については、今後の不法投棄の状況によって、関係機関と協議する。

Q ワクチン手帳交付は

A 考えていない



舟谷千幸  
(公明党)

紛失した場合の再発行について相談があった。これまで再発行した数は。

健康介護支援課参事 11月30日現在、54件となっている。

お薬手帳と同じ大きさで、ワクチン接種済証を貼り、副反応等が記録できるワクチン手帳がある。

問 新型コロナウイルスワクチン接種済証を

問 山形県米沢市ではワクチン手帳を作成している。本市において導入する場合の費用は。健康介護支援課参事

米沢市のような簡易な



もので、1冊16円程度で作成できるとすれば、接種された方全員に配布した場合で32万円程度、お薬手帳のようなタイプのものになると、400万円程度になる。

問 ワクチン手帳の活用により、各種ワクチン接種済証の紛失を防ぎ、健康管理の意識付けになると考える。作成について見解を。

健康介護支援課参事 今のところ、ワクチン手帳の作成は考えていない。

Q 空き家改修費等補助金

A 対象件数を増やして対応

問 これまでの事業で、賃貸と売買の数や空き家バンク登録数は。

定住推進課長 令和2年度の空き家バンク新規登録数は17件で、そのうち、賃貸が5件、売買が8件、賃貸または売買が4件となっている。

問 今年度の予算は414万8千円が計上されている。予算の内訳は。

定住推進課長 空き家改修費は上限121万6千円が3件、家財道具等運搬処分費は上限50万円が1件となっている。

問 子育て世代の移住促進のため、補助金を手厚くする考えは。

定住推進課長 この補助金は、老若男女を問わず移住者の促進を図るために実施しており、一部の若年層や子育て層のみに追加の補助金は検討していない。



空き家バンク登録物件

ただし、香美市には子育て世帯のリフォームや新築の補助金があり、定住後に活用していただくことが可能である。

拡充はできないか。

定住推進課長 来年度の予算については、来年度以降に申請したいとの要望が数件あることから、空き家改修費等補助金を3件から5件に増額して要求する予定である。

問 要望に対して予算枠がいっぱい待っている方がいる。予算の



土佐山田町商店街

**Q** 事業者復活、継続のために

**A** サポート体制の充実が必要



山崎龍太郎  
(日本共産党)

政府は本年度補正予算案に事業復活支援金を計上した。また、県

・市においてもコロナ禍において様々な事業者支援を行ってきた。

**問** 事業復活支援金も迅速な給付には課題が多いと考える。見解を。

**商工観光課長** 事業者へのサポート体制の充実と、できる限り迅速な支給を望んでいる。

**問** 支援金申請事務等は財政措置の上、自治体への移管がスムーズと考える。見解を。

**商工観光課長** 自治体は事業所の実情を把握しやすいため、不正受給の防止や、国よりも迅速な支給が可能と考

**問** 事業復活支援金の支援金額について課題はないか。

**商工観光課長** 国の持続化給付金と同じ水準と考える。

**問** 本支援金を補完する市制度の検討は。

**商工観光課長** 近隣他市の動向を注視し検討していく。

**問** 本市で行ってきた給付金、補助金等の現時点での総括を。

**商工観光課長** 給付金事業や補助事業により、一定程度の支援や事業継続などの応援ができたと考えている。

**問** 「もっと香美市事業者応援補助金」の実績を。

**商工観光課長** 11月30日時点の交付決定数は88件、金額は3391万8千円。

**問** 今後の展開は。

**商工観光課長** 新型コロナウイルスの感染状況により検討していきたい。

**問** 市の営業時間短縮要請対応臨時給付金は制度として評価が高い。申請件数、給付金額は。

**商工観光課長** 11月30日時点の申請件数は45件、給付金額は853万7千円。

**問** 郵送申請を原則としていたが事務は順調か。

**商工観光課長** ほとんどが窓口での申請受付となっているが、受付事務は順調に行えている。

**Q** 所有者の分からない土地

**A** 条例により対処

所有者不明の土地等が全く管理できておらず近隣住民に迷惑をかけている。

**問** 市民から寄せられる苦情件数は。

**環境上下水道課参事** 土地の樹木の越境や、雑草の繁茂についての苦情件数は、令和2年度は38件、令和3年度は37件。

**問** 担当課の対応と強制力について。

**環境上下水道課参事** 現地確認の上、土地の所有者に「土地の適正管理に関する文書」を送付し、適正な管理をお願いしている。

**問** 空き地の適正管理に関する条例の必要性は。

**環境上下水道課参事** 地域活性化総合補助金の対象項目とし自治会の意向にて管理、改善を図れないか。

**環境上下水道課参事** 「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を運用しているため現時点では考えていない。

**問** 地域活性化総合補助金の対象項目とし自治会の意向にて管理、改善を図れないか。

**環境上下水道課参事** 担当課と協議する必要がある。



Q 本庁にからくり時計を

A 機運が高まれば検討



村田 珠美  
(自由クラブ)

問 市の木は「すぎ」で市民の心の支えとなり、やすらぎをあたえ安定と躍進を表している。花は「あじさい」で人の心を和ませると

ともに香美市の賑わいを象徴し発展を表している。鳥は「かわせみ」で香美市の輝きを象徴し、豊かな自然と良好な環境を表している。玄関ホール周辺に写真等を掲示してPRを。  
管財課長 掲示物が作成されたら、掲示する場所については検討したい。

問 市役所駐車場に時計が欲しいという声がある。子どもたちに、こんなからくり時計があったという記憶を残してあげたい。

ユズの玉出しが日本一なので、ユズをデザインしたものや、香美市の星、やなせうさぎ、アンパンマンの、いずれかのからくり時計の設置を。  
管財課長 設置に関する機運が高まれば検討したい。

法について検討したい。

問 市役所、中央公民館の「ご意見箱」を改善して、市民の声が投稿しやすいようにならないか。

総務課長・生涯学習振興課長 改善に向けて検討する。

Q さまざまな世代の大使を

A 現大使の活動充実から

問 市長の見解は。  
市長 楽しい時計があれば多くの方に楽しんでいただけるが、相当の費用もかかる。市民の皆さんが大きな節目を迎える時に、議論を行い実りのあるものにしてはどうか。

1人目の観光大使、福岡功男さんに続いて、2人目の観光大使に国立天文台石垣島の前所長、宮地竹史さんが委嘱され、新たな希望が持てることとなった。  
問 どのような企画を計画していくのか。

問 駐車場内の縁石が目立たず危険。事故が起きる前に対策を。  
管財課長 来庁者の利用状況を見て、改修方

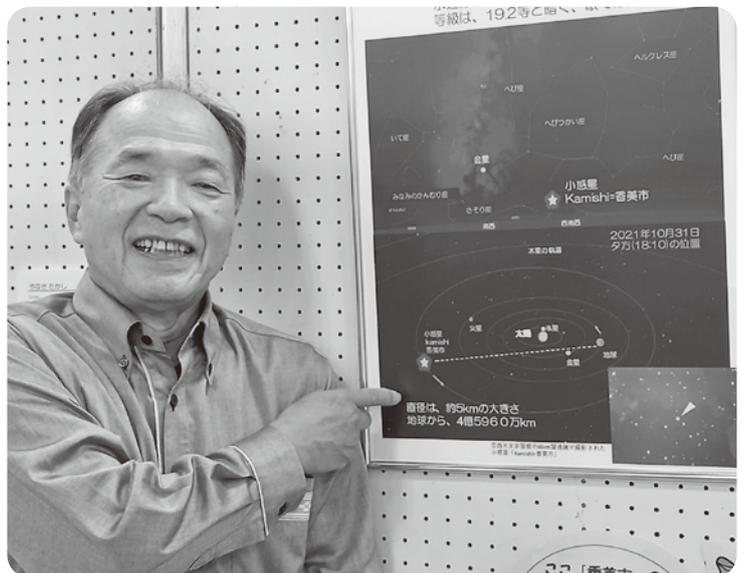
本庁駐車場の縁石

商工観光課長 香北の自然公園でのアサギマダラサミット開催や、香北中学校での星空観望会実施を検討している。

問 企画によってはさまざま世代の大使が必要ではないか。  
商工観光課長 観光大使の活動が始まったばかりであり、まずは現在の観光大使の活動充実を最優先に取り組んでいきたい。

商工観光課長 宮地竹史さんについては、市民の方から要望があり、検討委員会、選考委員会を経て委嘱に至っている。市民の声が反映できるような推薦の制度化について、今後検討していきたい。

問 観光大使にと市民からの推薦があれば可能か。



2人目の観光大使に委嘱された宮地竹史さん



消防の訓練

Q 消防の人員確保は

A 部署を超え対応



森田雄介  
(日本共産党)

問 「消防力の整備指針」に基づく、本市に必要なポンプ車、救急車の車両数と、その稼働に必要な消防吏員数、また充足状況を聞

消防長 本市に必要なポンプ車は3台、救急車は2台、非常用救急車は1台で充足率は満たしている。  
消防吏員の数は充足率を満たしていない。

問 直近の消防白書には、コロナ感染症への対応や頻発する異常気象、地震などの災害へ備える必要性が書かれている。

消防の責務を十分に果たすためには、さらなる消防力の充実が必要だ。現状の認識は。

消防長 救急救命士の業務に必要な資格の取得、消防学校等への入校および日常の訓練や研修を行っている。  
出勤や期間の短い事務処理など、余裕が少ないように感じることもあるが、所属長等の指示により、部署を超え対応している。

問 緊急消防救助隊の要請があった場合どうなるか。

消防長 あらかじめ出動隊等の割り振りを定め、迅速に対応できるように備えている。

問 救急、防災には余裕を持った人員確保が必要だ。人員増への見通しを聞く。

消防長 市役所関係部署との連携および協議を行い人員確保に努める。

Q 省エネ住宅普及を

A 建築相談などで

しにつなげていきたい。見解と取り組みを聞く。  
環境上下水道課参事  
脱炭素化社会に向けた取り組みを仕事おこしにつなげることは重要であると考えているが、市としての取り組みは行っていない。

問 省エネ住宅のうち、パッシブハウスという考え方を取り入れた住宅は、日本各地の気候に合わせた設計と施工ができる地域の工務店と相性が良い。

本年4月から、省エ

ネ性能について、建築主への説明義務が創設されている。市内業者が積極的にPRできる取り組みを進めては。

建設課長 「パッシブハウス」だけが省エネ住宅ではない。建築主は、多種多様な工法について、予算や立地条件などにより十分な検討が必要だ。

ハウスメーカーや建築士は、建築主に十分な説明が必要なことから、建築相談などにより伝えていく。



こうちエコハウスとホームページリンク

Q 児童虐待防止は

A 人材の確保、配置が必要



比与森光俊  
(公明党)

手順で行う。

問 現状調査後、児童虐待と認められた件数は。

福祉事務所長 児童虐待の認定児童数は、昨年度18人、本年度11月末現在で6人である。

問 児童虐待は、絶対に許されない。絶対に許されない。昨年度、そして本年度現在までの児童虐待情報件数は。

福祉事務所長 新規受理した相談・通告対象児童数は、昨年度29人、本年度11月末現在で18人である。

問 情報入手後、どのような手順で現状把握されるのか。

福祉事務所長 相談・通告の対応は受付、安全確認、受理会議、調査、ケース検討会議の



福祉事務所長 他機関との連携は、厚生労働省策定の「市町村子ども家庭支援指針」「子ども虐待対応の手引き」、県中央児童相談所作成の「市町村子ども家庭相談対応マニュアル」を参照し、対応している。

問 警察や児童相談所との連携が必要とされた件数は、それぞれ何件か。

福祉事務所長 警察との連携対応は昨年度4人、本年度11月末現在6人である。

問 児童相談所との連携対応は昨年度40人、本年度11月末現在36人である。

問 現在の課題と今後の対応は。

福祉事務所長 事案対応には、専門性を備えた人材の確保・配置が不可欠である。人員体制の強化に引き続き取り組む。

Q いじめ対策

A 未然防止に努める

いじめ問題は、インターネットの普及もあり、教育現場ではその把握と対応に苦慮されているのではないかと。潜在的なものも含め、いじめの有無に關しどのような認識か。

教育長 いじめは、いかなる理由があろうともあつてはならない。しかし、必ず起こりうるものと考え、未然防止に努めている。

香美市いじめ問題対策連絡協議会等条例を定め、関係諸機関と協議を行い、学校においては、香美市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止・早期発見に努めている。

問 調査把握はどのように行われているのか。

教育振興課長 さまざまな機会を捉えて早期発見・対応に努めている。併せて、アンケートや県の調査により把握に努めている。

問 昨年度そして本年度、いじめと認められた件数は。

教育振興課長 令和2年度は、小学校158件、中学校30件。令和3年度は、7月末まで、小学校81件、中学校18件である。

問 小学校から中学校へは全てが正確に引き継ぎされているか。

教育振興課長 中学校進学時に引き継いでいる。



SNS等が関係するケースもあつた。

問 警察との連携が必要とされる案件は。教育振興課長 現状ではない。

問 現在の課題と今後の対応は。

教育長 課題は、大人が気付きにくい場所や形で起きやすく、どの子にも起こりうる問題である。

問 これまでの取り組みに加え、情報モラル教育を子どもの発達段階に応じて計画的、継続的に行う。

Q 中山間地域の声を市政に

A 声を聞くことは大事



山崎 晃子  
(くらしと福祉を守る会)

から各集落を回り地域住民との懇談会をしてきたと聞けが、市全域の実施状況は。

問 人口減少問題に関して、県は実情把握のため「集落調査」を実施している。住民の生の声を政策に反映させる取り組みは重要である。本市の実施状況および来年度以降の取り組みを問う。

定住推進課長 おおむね50世帯未満の集落を調査対象としており、本市では76集落が対象で、現在53集落が終了している。今後県の調査結果が出次第、市の施策に反映させていく。

問 市長は、平成30年

定住推進課長 平成30年度4地区で56人、令和元年度3地区で55人、令和2年度はコロナ禍で中止、令和3年度は15地区93人の参加となっている。地区懇談での意見や要望を踏まえて、地域生活基盤の改善、空き家対策、公共交通網の維持改善等、今後も効果的な中山間対策を行っていく。

問 中山間対策の取り組みに住民の声をどう生かす考えか見解を。

市長 地域を回り、直接声を聞かせていただくことは非常に大事。気持ちも、熱も伝わってくる。大変さもすぐ

問



閉店となったべふ茶屋（べふ峡休憩所）

く伝わってくる。しっかりと前を向いてやっていかなければと、私自身が励まされている。

問 べふ茶屋は、委託先の高齢化等により閉店となった。今後の見通しと対策は。

物部支所長 今秋は臨時観光案内所を開設し、お客様への対応を行った。今後は施設の有効な活用方法を研究したい。

問

問 4月からインターネットの光回線が本市全域で使用できるが、大柄にサテライトオフィス誘致ができないか。

商工観光課長 地域の活性化を図るためには、地域の問題点を明確にし、その問題解決に共に取り組んでくれる企業を誘致し、将来的に若者の働く場所の確保につなげていくことに取り組むべきと考える。

問

問 大柄は空き家、空き地が増えたが、まちづくりの観点からの議論・検討が必要ではないか。

物部支所長 増加している空き家や空き地の活用やまちづくり等、関係機関や地元の見解を聞きながら議論・検討が必要と考える。

Q 18歳まで医療費無料に  
A 現段階で予定はない

問 来年度より未就学児にかかる国保税の均等割が5割軽減される。満18歳までの均等割を助成できないか。併せて、未就学児の均等割をなくすことはできないか。

市民保険課長 今議会に関連条例の一部改正を提案したばかりであり、現段階でさらなる拡充は考えていない。



問 子どもの医療費助成制度は子育て世帯の経済的負担の軽減につ

Q

気候危機にどう立ち向かう？

A

危機感をもっている



大岸 眞弓  
(日本共産党)

あと3年となった。こうしたことから本年、物部川水系流域治水がまとめられた。流域みんなが立ち上がらなければならぬ状況となっている。

問 2030年までの取り組みがカギである。温室効果ガス削減目標を見直す必要は。

環境上下水道課参事 検討する。

問 地球温暖化対策推進計画策定は、幅広い市民（地元企業、団体、主婦、未来世代など）と共に策定し、目標を明確に。

環境上下水道課参事

県の動向にも注視していきたい。

問 環境正義、気候正義の考え方の普及を。環境上下水道課参事 普及啓発が必要。



問 使い捨てプラスチックの大量生産、大量消費をやめるべきでは。

環境上下水道課参事 地球温暖化対策の観点からも重要であると考えている。

問 官民連携でエネルギーの地産地消を。

環境上下水道課参事 研究していく必要がある。

問 個人住宅への太陽光パネル設置補助金の増額を。

環境上下水道課参事 本年度から補助対象件数を拡大しているため増額の検討はしていない。

Q エントランスが滑り、危険

A 修繕方法を検討



雨天時のプラザ八王子のエントランス

プラザ八王子の施設に申し問う。

問 美術館収蔵庫建設の経過と今後の対応は。生涯学習振興課長 プラザ八王子の施設内に収蔵庫にできるスペースがないか、関係各課職員で話し合っている。

問 プラザ八王子のエントランスが雨の日は滑りやすく大変危険だ。転倒した人もいる。早急に改修を。

福祉事務所長 利用者の安全確保と費用対効果を両立できるよう、既設タイルの修繕方法

を検討したい。

問 駐車場が狭く、オフィスも手狭で不便を来している。社会福祉協議会の移転も含め、施設整備の充実検討を。

福祉事務所長 駐車場の不足の多くは、社会福祉協議会実施の事業・行事ではなく、市の事業により発生している。

事務所移転での解決は見込めないと思われる。来館者が多くなる事業・行事が重複しないよう、可能な限り調整し

対応している。

環境上下水道課参事 危機感を持っている。市長 気候変動により、毎年国内外で大きな災害が発生している。平成30年7月豪雨では物部川も氾濫危険水位に



市民共同発電所でアースデイの集い（米子市）  
「新婦人しんぶん」より

Q 森、農を持続可能に

A カーボンニュートラルの視点で



笹岡 優  
(日本共産党)

農林課長 乾燥施設は検討中。市内製材所は現時点では後継者がいないようである。

問 地元で木材を低廉で供給できる仕組みづくりは。  
農林課長 そのような仕組みは無いが市産材を使い、住宅を建築する場合の補助を行っている。

問 クラウドファンディングの研究、温暖化対策とマッチングさせる森林資源活用政策を。企画財政課長 森林資源の循環利用が、カーボンニュートラルにもつながるという視点を持って、引き続き施策を調整していく。

問 米価下落、高齢化で耕作がますます困難に。農家の果たしている社会的な役割は。  
農林課長 生活に必要な不可欠な食糧を供給するとともに、農地を守り農業の持続的な発展

の基盤となる役割を果たしている。選挙制度に起因するとは、言い切れない。  
問 農地を定期的に耕す「地域支援協力隊」を。  
農林課長 課題解決に向けた仕組みづくりについても引き続き情報収集に努める。

Q 選挙制度を問う  
A 都市部偏重の傾向が...

「当日の天候」とのことである。選挙制度に起因するとは、言い切れない。  
問 小選挙区は一票の格差をつくり、「違憲」を拡大し、地方の定数が減り、都市部一極集中に拍車をかけ、格差拡大になるのでは。  
選挙管理委員会書記長 地方の声が今まで以上に届きにくくなり、都市部偏重の傾向が強まる可能性がある。

問 比例代表で「無効」が有効投票の4%もあった。衆参両院で投票方法が違うのはおかしいのでは。  
選挙管理委員会書記長 大きな問題点があるとなった場合は、国会等の場で議論が行われ、改革されるものと考えている。



本庁1階の投票所

問 低投票率に関連して、選挙制度、予想記事、出口調査や開票前の「当確」報道などに意見を上げることができないか。  
選挙管理委員会書記長 選挙制度に関する公職選挙法の細かい箇所の変更要望は、全国市区選挙管理委員会連合会を通じて行うシステムがあるが、根幹に関わる部分については、意見を上げるシステムがない。市長会等を通じて要望するといった方法が考えられる。

農林課長 本市においても、原木の増産を通じた林業の推進とともに安定供給に必要な再造林を進める必要があると考える。  
問 自伐林業家の育成の必要性について。  
農林課長 検討する。  
問 乾燥施設めぐりと市内製材所の継続性は。



先の衆院選の低投票率は、憲法前文の「正当に選挙された国会」と言えるのか疑問だ。  
問 小選挙区制が導入されてから投票率が激減。選挙制度に原因があるのでは。  
選挙管理委員会書記長 県の選挙アドバイザーによると投票率が伸びる主な要因は、「候補者の顔ぶれ」「候補者の知名度」「選挙の争点」



なお、報道各社に対して意見を上げるシステムはない。

Q 不法投棄、監視カメラを

A 今後の状況により



久保和昭  
(市民クラブ)

環境上下水道課参事  
表のとおり

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
発生箇所数	5	4	5	11
処理件数(解決)	1	3	3	5

最近、香北町五百蔵と谷相で相次いで不法投棄が発覚した。「環境美化条例」を制定している本市の不法投棄への対応を問う。

問 行政対応する市・県福祉保健所・警察署、それぞれの役割は。環境上下水道課参事

問 現在、把握している不法投棄の箇所数・処理(解消)状況は。

協議後速やかに通行の支障のない状況とする。

問 ケース(谷相)は、人里離れた林道沿い3カ所に不法投棄されている。監視カメラを設置できないか。

環境上下水道課参事  
今後の不法投棄の状況によって関係機関と協議する。

問 行政努力をしても、一向に不法投棄が無くならない原因は。

環境上下水道課参事  
不法投棄をする人間の、廃棄物処理のルールを守る意識が低いと考える。



不法投棄(五百蔵)

Q 公民館を「幸民館」へ

A 「学び・集い」を支援

暁霞地区(香北町)

公民館が閉館予定となり、市内11地区公民館となる。減少する地区公民館の今後を問う。

問 閉館する暁霞地区公民館で、現在活動中のサークル活動は。

生涯学習振興課長  
統合後もサークル活動が円滑にできるように協議している。

問 時代の趨勢とともに参加者の高齢化、活動の固定化、子育て世代の参加が少ないなどの課題を抱えてきた。今後は、市民ニーズを的確に捉えた今日的な社会教育を理解した業務が求められる、見解は。

生涯学習振興課長  
地域の課題解決のための「学び」の機会を支援



暁霞地区公民館(閉館予定)

するために、地域コミュニティ内での調整・進行・まとめ役として、地区公民館が役割を果たせるよう取り組む。

「ここには人は集まる」という全国的な実績も踏まえ、人々が有機的につながる社会教育施設として、公民館事業を展開させる。

問 コロナ禍が長期化する中、「幸民館」となるような持続的事業展開を期待するが見解は。

生涯学習振興課長  
本市教育基本計画の「郷土を愛し、未来を拓く人づくり」を基本理念に、また「知のあると

教育長  
社会の急速な変化に伴い、生涯学習が続ける仕組みづくりが求められている。公民館の果たす役割はますます重要になる。地域の皆さんが学び、集う施設として役割を果たせるよう取り組んでいきたい。

きた。

Q 中山間を守るため

A 行政として取り残さない



萩野 義和  
(市民クラブ)

るさと物産館の建替計画はないため現行施設の活用が基本と考える。

問 大栃駅前に花が植えられている。さらに楽しく賑わいを生み出すためにダム湖の上こいのぼりを泳がせる

等ができないか。  
物部支所長 現在、県道大豊物部線と市道の交差点改良計画を進めており、今後は関係部署を含めた協議を行いたい。

問 岡ノ内の市道・市有地・ヘリポートの排水処置について市としての方針をまとめ、市民と協議して速やかな解決を図れないか。

物部支所長 地元意見のまとまりが重要である

り、今後関係者と協議したい。

問 中山間部の高齢者に生きがいを持っていただくために徳島県上勝町の葉っぱビジネスのような取り組みができないか。

農林課長 地域の特性に合わせた生産や流通体制などが十分に検討され、地域でそのようなビジネスモデルを構築できれば成功する可能性はあると考える。

Q 新型コロナ ワクチン接種事業

A 大きな問題は無い

問 コロナワクチン接種では重大な問題が発生している事例があるが、香美市では大きな問題はなかったか。

健康介護支援課参事 間違い接種やワクチンの大量廃棄など、特別な問題は発生していない。

問 現在までの香美市のコロナワクチン接種率と人数は。

健康介護支援課参事

12月6日現在の接種人数は、1回目が1万9740人、2回目が1万9540人で、接種率は、1回目が76・18%、2回目が75・41%となっている。また、接種対象となる12歳以上の接種率は、1回目

が82・90%、2回目

中山間部の落ち込みは非常に厳しい。物部町は合併以来15年で人口約27000人が40%減の約16000人となった。市は目に見える形で復活を図る必要があるのではないか。

問 奥物部ふるさと物産館前の駐車場は狭く日曜日等は混雑している。橋の整備に合わせ、後ろの市有地と国有地の払い下げを受け、曳家を行い外装を一新すれば、駐車場が増え、賑わいを生み活性化が図れると思われるが。

物部支所長 奥物部



物部町永瀬ダム湖

問 中山間部振興の政策を。

市長 中山間は大変厳しい状況になっている。声も小さくなっているが、行政として取り残すようなことは絶対あつてはならないと考えている。

集落活動センターについて議論がなされているが、地域のためにぜひ足を踏み出していただきたい。出来る応援は行う。

議会に対するご意見、ご要望は議会事務局までご連絡ください

〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号

TEL 0887(53)1093 / FAX 0887(53)3233

メール gikai@city.kami.lg.jp

Q カミカの普及、のぼり旗は

A 巡回して加盟勧奨



山口 学  
(市民クラブ)

商工観光課長 商工会が把握している市内の全事業者に対する案内文書の発送や、小売サービス業を中心に巡回訪問を行い、加盟勧奨を行っている。

2回目の、1万円分の電子マネーが付与され、その使用期限も近づいてくる。カミカの普及のために問う。  
問 現在行っている取り組みは。

問 カミカアプリの運用が開始されたが、登録者数とキャンペーン対象者数は。

商工観光課長 アプリのインストールは21

90件、キャンペーン対象者は1183件。

問 アプリ内容充実のため、加盟店の情報収集、取材を行うと聞く、完成時期は。

商工観光課長 商工会が事業者PRサイトの構築を進めており、令和4年1月末の完成予定である。

問 一目で加盟店と分かるのぼり旗の検討を。

商工観光課長 管理の面で加盟店に負担が掛かり、経年劣化による取り換えが必要となることから、導入は見送りとなった。

問 無人でチャージできる機器の導入、キャリア決済の検討は。

商工観光課長 無人チャージ機は導入に向けて検討している。クレジットカードからのチャージは、機能的には可能だが、カード決済手数料の負担が検討課

ようこそ70歳の同窓会へ!!

コロナ禍で2年ぶりに開催されました

令和3年11月27日(土)  
主催：香美市社会福祉協議会  
香美市地域包括支援センター



まだまだ元気はつつ!

旧姓はだれだっけ?



名刺交換ゲーム



香南ジュニアオーケストラの皆さんの素敵な演奏で開幕



学生時代夢中になっていたことは? 好きな番組は?

題となっている。

問 事業者との意見交換、アンケート調査を行うべきではないか。  
商工観光課長 カミカに対する加盟店からの意見や、要望を聞き取る体制づくりを検討していきたい。